VOX

JamVOX

Jam and Practice Tool for Guitar

取扱説明書

Ⓙ ②

目　次

クイック・スタート

実際にJamVOXソフトウェアを操作して、JamVOXの基本的な使い方を見てみましょう。

Step1 エフェクト・プログラムのサウンドを聴いてみましょう

1. **Effectボタンをクリックしてください。**

画面中央にアンプ/エフェクト・コントロール・パネル、エフェクト・ルーティングなどが表示されます。

2. **エフェクト・プログラム名の右側にあるプログラム・セレクト・ボタン(△/▽)をクリックしてください。**

クリックするたびにプログラムが1つずつ切り替わりますので、ギターを弾いて試してみてください。

プログラムの選択方法は、この他にもあります。(☞8 ページの「エフェクト・プログラムを選ぶ」)

3. **エフェクト・ルーティング上のアンプ名をクリックしてください。**

表示されるメニューでアンプを変更することができます。

エフェクトも同様の操作で変更することができます。

4. **エフェクトを接続したい場所にドラッグ&ドロップしてみてください。**

すべてのエフェクトは、自由に接続順を変えることができます。

アンプ/キャビネットやエフェクトの調整は、アンプ/エフェクト・コントロール・パネルで行います。コントロール・パネルには、クリックして選択したアンプやエフェクトが表示されます。

Step2 曲を再生してギター・パートをキャンセルしてみましょう

1. **コンピューターに保存されている曲を、ミュージック・プレーヤーへドラッグ&ドロップしてください。**

再生できる曲の形式は、WAV (.wav/.wave) 、AIFF (.aif/.aiff) 、MP3 (.mp3) 、Windows Media Audio (.wma、Windowsのみ対応) 、AAC (m4a、QuickTime7がインストールされている場合に対応) です。DRM (デジタル著作権管理) で保護された曲は再生できません。

2. **再生ボタンをクリックしてください。**

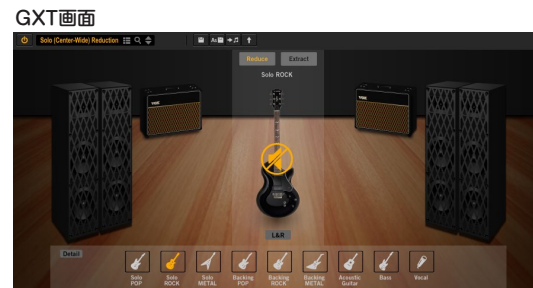
曲を再生します。

3. **再生位置表示のポインターをドラッグして曲のギター・ソロ部分を探し、再生してください。**

4. **ミュージック・プレーヤーのGXTボタンをクリックします。**

ギター・ソロがキャンセルされます。

ギター・ソロのミックスのされ方によってキャンセル効果が変わってきます。GXT画面でギターをドラッグして、キャンセル効果を調整してみてください。

GXT画面のExtractボタンで、ギター・ソロを抽出/強調して再生することができます。また、音程を変えずに再生スピードを落とすことができるテンポ・チェンジ機能とあわせて使うと、練習に便利でしょう。GXTの詳細については、20 ページの「GXT (Guitar XTracktion) 機能」をご覧ください。

Step3 曲と一緒に演奏してみましょう

あとは、曲に合わせてギターを弾くだけです!

再生中の曲に対してピッチを変えずに、テンポを変えることができます。聞き取りにくいフレーズのコピーや練習に役立ちます。

1. **Tempoボタンをクリックします。**

2. **－ボタンまたは+ボタンでテンポを調節します。**
－50%～+150%の範囲を調節できます。
0ボタンをクリックするとオリジナルのテンポに戻ります。

また、再生スピードを変えずに音の高さを変えることができるピッチ・チェンジ機能を使えば、曲のピッチをギターのチューニングに合わせることができます。
レギュラー・チューニングで半音下げチューニングの曲を弾く場合にも便利です。

1. **Pitchボタンをクリックします。**

2. **♭ボタンまたは♯ボタンでピッチを調節します。**
－5半音～+5半音の範囲を調節できます。
0ボタンをクリックすると、オリジナルのピッチに戻ります。

JamVOXでは、この他にも、曲のループ再生、エフェクト・プログラムのオート・チェンジ、各プログラムのダウンロード/アップロード等々、数多くの便利な機能を搭載しています。また、曲とギターの演奏を録音するだけでなく、Webカメラ搭載のコンピューターやWebカメラを接続したコンピューターを使用して、自分の演奏を撮影することができます。自分の演奏フォームを確認したり、動画サイトにアップロードして世界中のギタリストに演奏を披露するのも楽しいでしょう。

基本操作

JamVOXのコントローラーやパラメーターは、コンピューターのマウスやキーボードを使って以下のように操作します。

ノブ

ドラッグ

値を調整します。ドラッグの方法は、オプション・メニューの環境設定のノブの操作方法の設定によって異なります。初期設定は直線に設定されています。

マウスのホイール

カーソルをノブやスライダーなどに重ねると、マウスのホイールで値が調整できます。

ダブルクリック

初期値に戻ります。

NOTE: 初期値とは、工場出荷時の値や設定です。

コンピューターのキーボードで調整する

ノブをクリックして選択し、コンピューターの上下左右カーソル・キーで値を調整します。上下キーでは粗調整、左右キーでは微調整です。
パネル上に複数のノブが横一列に並んでいるときは、コンピューターの[Tab]キーを押すと、操作対象が右側のノブに移ります。[Shift]キーを押しながら[Tab]キーを押すと、操作対象が左側のノブに移ります。

スライダー

スライダーをクリック

クリックした位置に対応した値が設定されます。

スライダーを左右にドラッグ

値を調整します。

マウスのホイール

カーソルをノブやスライダーなどに重ねると、マウスのホイールで値が調整できます。

ダブルクリック

初期値に戻ります。

スイッチ、ボタン

クリック

クリックするたびに設定が切り替わります。

▲/▼（Inc/Dec）ボタン

120.0

クリック
クリックするたびに値が増減します。

プレス
値や設定が連続的に増減します。

ポップアップ・メニュー

▼をクリック
表示されるメニューから設定を選びます。

各部の名称と機能

1
2
3
4
5
6
7, 8, 9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
Guitar
GXT
Effect
GXT
Music
Master
AC30TB Lead
VOX AC30TB
Tuner
Calibration
440Hz
Pick-Up Selector
Type
HUM > Single
Tone
Metronome
Tempo
120.0
Tap
Beat
4 / 4
Accent
Level
Sound
Click
Drum Player
Rhythm
Rock 1 [95]
Level
POWER
AMP
CABINET
GAIN
VR GAIN
TREBLE
MIDDLE
BASS
PRESENCE
OUTPUT
VOX
Song2.wav
Tempo
Pitch
0
100%
00:41.946

1. Guitar (Guitar Output Level)
ギターの音量を設定します。

2. Pan (Guitar Pan)
ギター出力の定位を調節します。

3. GXT Link
GXTプログラムとギター出力の定位をリンクします。

4. プログラム・セレクト（プログラム名、リスト・ボタン、🔍ボタン、△/▽ボタン）
プログラム名を表示、選択します。

5. Auditionボタン
オーディション・リフ（ギター・フレーズ）をループ再生します。

6. Effect/GXTボタン
Effectボタンをクリックすると、画面の中央にアンプ/エフェクト・パネルを表示します。
GXTボタンをクリックすると、画面の中央にGXT画面が表示されます。

7. Saveボタン、Save Asボタン
エディットしたプログラムなどを保存、または別名保存します。

8. Set to Songボタン
エフェクト・プログラムやGXTプログラムを曲に設定します。

9. アップロード・ボタン
自分で作成したエフェクト・プログラムをJamVOX-Onlineにアップロードします。

10. Musicノブ (Music Output Level)
ミュージック・プレーヤーの再生音量を調整します。

11. Masterノブ (Master Output Level)
全体の音量レベルを調整します。

12. アンプ/エフェクト・コントロール・パネル
アンプ・モデルとエフェクト・モデルを選択、設定します。

13. エフェクト・ルーティング
エフェクト・ルーティングは、各エフェクト・モジュールの配置を変更できます。

14. Tuner
オンにすると、オート・クロマチック・チューナーが動作します。
キャリブレーションの設定範囲は410 ～ 480Hzです。

15. Pick-up Selector
ギターのピックアップをシミュレートします。

16. Metronome
オンにすると、メトロノームが動作します。
テンポ、拍子などを設定できます。

17. Drum Player
オンにすると、ドラム・パターンを再生します。

18. ミュージック・プレーヤー
曲の再生や録音を行います。

演　奏

エフェクト・プログラムを選ぶ

JamVOXには、100種類以上のプログラムが内蔵されています。

プログラムの選択は、最初にEffectボタンをクリックし、次に以下の方法で行います。

プログラム・セレクト・ボタン（△/▽）による選択

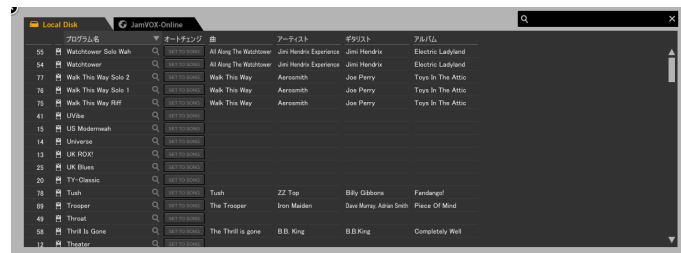
プログラム・セレクト・ボタン（△/▽）では、プログラムを1つずつ切り替えることができます。

1. **プログラム名の右側にあるプログラム・セレクト・ボタン（△ /▽）をクリックします。**
▽ボタンで次のプログラム、△ボタンで前のプログラムが選択できます。

ポップアップ・メニューによる選択

ポップアップ・メニューでは、エフェクト・プログラム名を確認しながら選択することができます。
プログラム名をクリックして表示されるメニューからプログラムを選びます。

リストによる選択

1. **LISTアイコン（▤）をクリックして選びます。**
コンピューターに保存されているエフェクト・プログラムがリストに表示されます。

2. **リストのエフェクト・プログラム名をダブルクリックして選びます。**

JamVOX-Onlineからエフェクト・プログラムをダウンロードする

JamVOXでは、自分で作成したエフェクト・プログラムをJamVOX-Onlineにアップロードしたり、他のユーザーがアップロードしたエフェクト・プログラムを検索し、ダウンロードして使うことができます。

ここではエフェクト・プログラムをダウンロードする方法を説明します。

JamVOX-Onlineの機能を使用するには、コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

エフェクト・プログラムの試聴やダウンロードを行うには、ユーザー登録が必要です。ユーザー登録を行っていない場合は検索のみ行えます。

1. **リストのJamVOX-Onlineをクリックして選択します。**
リストに人気のエフェクト・プログラムが表示されます。

2. **使用したいプログラムが表示されない場合は、Search欄に曲名やアーティスト名を入力してコンピューターのReturnキーを押します。**
リストに検索結果が表示されます。思うような結果が得られない場合はSearch欄に入力する項目を変更してみてください。

3. **表示されたプログラムをダブルクリックするとダウンロードできます。**
ダウンロードしたプログラムは、「Local Disk」に保存されます。
ユーザー登録を行っていない場合は、表示されるダイアログの指示にしたがって登録を行ってください。

ギターを弾かずにエフェクト・プログラムの音色を確認する－オーディション機能

オーディション機能は、エフェクト・プログラム選択時に、ギターを弾かなくても、あらかじめ用意されたオーディション・リフ（ギター・フレーズ）をループ再生して、エフェクト・プログラムの音色を確認できます。

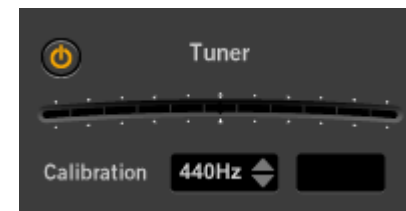
1. **Auditionボタンをクリックします。**
オーディション・リフが再生されます。

2. **Auditionボタンの右にある▼をクリックして表示されるメニューから、フレーズを選択します。**

3. **再びAuditionボタンをクリックすると、オーディション・リフが停止します。**

ギターを演奏する

ギターをチューニングする－Tuner

1. **Tunerの電源ボタンをクリックしてオンにします。**

2. **必要に応じて、Calibrationで基準ピッチを設定します。**
基準ピッチ（ピアノ中央のラの音=A4の周波数）を設定します。設定範囲は、410 ～ 480Hzです。初期設定では440Hzに設定されています。

3. **ギターを単音で弾きながら、合わせたい音名がディスプレイに表示されるように、おおまかにチューニングします。**
ディスプレイには、入力した音に一番近い音名が表示されます。

4. **LEDメーターで、ギターを正確にチューニングします。**
中央のLEDだけが点灯するようにチューニングします。LEDメーターの点灯は、ピッチが高いときに中央から右へ、低いときに中央から左側に移動します。

接続したギターのキャラクターを変える – Pick-up Selector

ピックアップ・セレクター(Pick-up Selector)は、ギターのピックアップをシミュレートし、接続しているギターのピックアップの音色を変えることができます。

ボタン

ピックアップ・セレクターをオン/オフします。オンにすると、すべてのエフェクト・プログラムに対してピックアップ・セレクターが有効になります。

Type

ピックアップのタイプを選択します。

Hum (Humbucker) > Single: ハムバッキングの音色を、シングル・コイルの音色にします。

Single > Hum (Humbucker): シングル・コイルの音色を、ハムバッキングの音色にします。

Half Tone: ハーフ・トーンの音色にします。

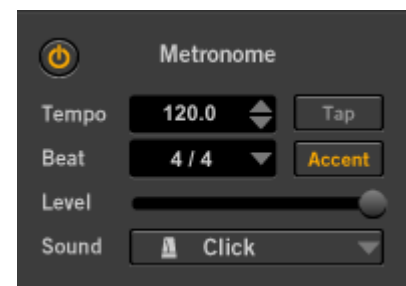
Phase Out: ピックアップをフェイズ・アウトさせた音色にします。

Tone

Typeで選択したピックアップ・タイプの音色を調整します。効果はピックアップ・タイプによって異なります。

エフェクト・プログラムの音量を調整する

エフェクト・プログラムの出力レベルを調節します。初期設定は0dBです。

メトロノームを使う – Metronome

ボタン

メトロノームをオン/オフします。オンにすると、TempoやBeatの設定に従ってメトロノームが動作します。

Tempo

テンポを調整します。

Level

メトロノームの音量を調整します。

Tap

複数回クリックしてテンポを調整します。

Beat
メトロノームの拍子を設定します。

Sound
メトロノームの音色を設定します。

Click：メトロノームのクリック音
Side Stick：スネア・ドラムのサイド・スティック
Cowbell：カウ・ベル
Hi-Hat：ハイハット

Accent
小節の頭にアクセントをつけるかどうかを設定します。

ドラム・プレーヤーを使う– Drum Player

ボタン
ドラム・プレーヤーをオン/オフします。オンにすると、Rhythmで選択しているドラム・パターン演奏します。

Rhythm
ドラム・パターンを選択します。

ドラム・パターンの演奏テンポは変更できません。

Level
ドラム・プレーヤーの音量を調整します。

全体の音量を調整する – Master Output Level

全体の音量レベルを調節します。

マイクを接続する

1. **環境設定のハードウェアでInput 2chに設定している端子にダイナミック・マイクを接続します。**
2. **マイクの入力レベルを調節します。**
   マイクに声を入力して、マスターのレベル・メーターが赤く点灯しないように調節します。
3. **ギター、マイクの各音量のバランスを調整します。**
   ギターを弾いたり、ミュージック・プレーヤーを再生しながらマイクに声を入力して調整します。

音作り

音作りをする

音作りの方法は、作りたいサウンドに近いプリセット・プログラムなど、既存のプログラムを元に、必要な部分をエディットして目的のサウンドを作り上げていく方法と、白紙の状態（ゼロ）から作り上げていく方法があります。

エフェクト・プログラムの構成

JamVOXソフトウェアのエフェクトに関するセクションは、大きく分けるとエフェクト・ルーティング、アンプ/エフェクト・コントロール・パネルで構成されています。

ルーティングの中にアンプやエフェクトがあり、ドラッグ&ドロップで自由に接続を変更することができます。

JamVOXでは、これらのエフェクト・ルーティング、アンプ/エフェクト・コントロール・パネルを使って、アンプの音色やエフェクトをエディットします。

プリセット・プログラムを元に音を作る

既存のプログラムを元に音作りをしていく場合は、作りたいサウンドに近いプログラムを選び、アンプやエフェクトのパラメーターを調整し、目的のサウンドを作成します。例えば、モダンなクランチ・サウンドを元に、ゲインをアップさせ、もっとラウドな中域を強調したコンテンポラリーなリード・サウンドを作るといった具合です。

HINT: エディット中にJamVOXソフトウェアを終了しても、再起動時にプログラムのエディットの状態を再現できます。（☞28 ページの「環境設定」）

新しくサウンドを作る

白紙の状態からサウンドを作成します。

1. **リストからInitial Programを選びます。**
2. **エフェクト・ルーティングに表示されているアンプ名をクリックしてアンプ・モデルを選択します。**
   アンプ・モデルの種類については、「エフェクト・ガイド」（PDF）を参照してください。
3. **アンプ/エフェクト・コントロール・パネルのコントロール・ノブでアンプの音色を設定します。**

アンプ・パラメーターについては、「エフェクト・ガイド」（PDF）を参照してください。

4. **エフェクトの接続順序を変更する場合は、エフェクトをドラッグ&ドロップします。**

5. **設定するエフェクトをクリックして選択します。**
選択したエフェクトのパネルがエフェクト･ルーティングの上に表示されます。

6. **エフェクト･ルーティング上に表示されているエフェクト名をクリックして、エフェクト・モデルを選択します。**

7. **アンプ/エフェクト･コントロール･パネルのコントロール･ノブでエフェクト･パラメーターを設定します。**
設定するパラメーターについては、「エフェクト・ガイド」（PDF）を参照してください。

8. **他のエフェクト・モデルについても、手順6 ～ 7と同様の操作で設定します。**

9. **SaveボタンまたはSave Asボタンをクリックして、エフェクト・プログラムを保存します。**

☞13 ページの「エフェクト・プログラムを保存する」

エフェクト・プログラムを保存する

作成またはエディットしたエフェクト・プログラムを保存します。

⚠ エディットしたプログラムを保存しないで他のプログラムに切り替えると、エディットしたプログラムの状態は消去されます。

上書き保存　Save

Saveボタンをクリックすると、リストに保存されているプログラムに上書き保存されます。

新規保存　Save As

現在エディット中のプログラムとは別に、リストに新規保存されます。

1. **Save Asボタンをクリックします。**
プログラム情報等を入力するダイアログが表示されます。

2. **必要な項目を入力します。**

3. **OKボタンをクリックします。**
エディットしたプログラムが新規に保存され、リストに追加されます。

JamVOX-Onlineへエフェクト・プログラムをアップロードする

JamVOXでは自分で作成したエフェクト・プログラムをJamVOX-Onlineにアップロードしたり、他のユーザーがアップロードしたエフェクト・プログラムを検索して、ダウンロードして使うことができます。

ここではエフェクト・プログラムをアップロードする方法を説明します。

JamVOX-Onlineの機能を使用するには、コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

エフェクト・プログラムのアップロードを行うには、ユーザー登録が必要です。

1. **アンプ/エフェクト・コントロール・パネルの上にあるUploadボタン（ ）をクリックします。**
ユーザー登録を行っていない場合は、表示されるダイアログの指示にしたがってユーザー登録を行ってください。

2. **内容を確認し、必要な場合は修正してOKをクリックすると、エフェクト・プログラムがアップロードされます。中止する場合はキャンセルをクリックします。**

ミュージック・プレーヤー

JamVOXのミュージック・プレーヤーでは、コンピューターに保存されているオーディオ・データを再生したり、ギターの演奏等を録音することができます。また、Webカメラ搭載のコンピューターやWebカメラを接続したコンピューターを使用して、自分の演奏を撮影することができます。

以下のデータが再生可能です。

- WAV (.wav/.wave)
- AIFF (.aif/.aiff)
- MP3 (.mp3)
- WMA (.wma) : Windowsのみ対応。
- AAC (.m4a) : QuickTime7がインストールされている場合に対応。

DRM(デジタル著作権管理)で保護された曲は再生できません。

ミュージック･プレーヤーには曲のコピーや練習に最適な以下の機能があります。

- 曲間のループ再生
- テンポ・チェンジ機能やピッチ・チェンジ機能
- 曲のギター・パートのキャンセルや抽出/強調が可能なGXT機能
- 曲の再生位置にマーカーを付けて、エフェクトを自動的に切り替えることができるオート・チェンジ機能
- 曲と演奏の録音

曲をインポートする

ミュージック・プレーヤーに曲をインポートします。インポートすることによってJamVOXのミュージック・プレーヤーで再生することが可能になります。

1. ミュージック・プレーヤーの左側にあるImportボタン（ ♫ ）をクリックします。
インポート画面が表示されます。

2. インポート方法を選択して曲をインポートします。
インポートの方法には、ドラッグ&ドロップ、フォルダから選択、最近使用したオーディオファイルから選択するなどがあります。

曲を再生する

1. オーディオ･データのファイルをミュージック・プレーヤーにドラッグ&ドロップします。

2. PLAY/PAUSE ▶ ボタンをクリックします。
再生中にPLAY/PAUSEボタンをクリックすると、一時停止します。

曲の音量を調節する

Musicノブで曲の音量を調整します。

曲のピッチを変える

JamVOXでは、再生中の曲に対してテンポを変えずに、ピッチを変えることができます。

1. **Pitchボタンをクリックします。**

2. **♭ボタンまたは♯ボタンでピッチを調節します。**

−5半音〜+5半音の範囲を調節できます。
0ボタンをクリックすると、オリジナルのピッチに戻ります。

曲のテンポを変える

JamVOXでは、再生中の曲に対してピッチを変えずに、テンポを変えることができます。

1. **Tempoボタンをクリックします。**

2. **−ボタンまたは+ボタンでテンポを調節します。**

−50%〜+150%の範囲を調節できます。
0ボタンをクリックするとオリジナルのテンポに戻ります。

波形の表示範囲を変える

右下にあるスライダーで、表示されている波形の範囲を変更できます。

曲を区間ループ再生する

ループを開始するところで波形をクリックし、ループを終了するところまでドラッグします。設定した区間でループ再生します。

NOTE: ループ区間は、1曲に1つしか設定できません。

インターネットに接続する

ミュージック・プレーヤーの左側にあるWebボタン（ ）をクリックすると、別のウィンドウが開き、インターネットを閲覧することができます。
好きなアーティストの情報を調べたり、動画サイトで演奏を見ることができます。

GXT機能を使う

GXT機能は、簡単な操作で好きな曲のギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調することができます

1. **GXTボタンをクリックします。**

再生している曲に対してGXT効果がえられます。

GXT機能については、20 ページの「GXT（Guitar XTracktion）機能」をご覧ください。

曲の再生中にエフェクト・プログラムを切り替える–オート・チェンジ機能

オート・チェンジ機能とは、曲の再生中にエフェクト・プログラムやGXTプログラムを自動的に切り替える機能です。

イントロ	Aパート	Bパート	ギター・ソロ
ギター・プログラム1	ギター・プログラム2	ギター・プログラム3	ギター・プログラム4 〜

好きな位置にエフェクト・プログラムやGXTプログラムのオート・チェンジ情報が入ったマーカーを付けていくことによって、曲の再生時にプログラムを自動的に切り替えることができます。

マーカーを付ける

アンプ/エフェクト・コントロール・パネルの上にあるセット・トゥ・ソング・ボタン（ ）をクリックすると、現在の再生位置にエフェクト・プログラムやGXTプログラムのマーカーを付けることができます。マーカーを付けると、再生位置表示の下にマーカーのアイコンが表示されます。

: エフェクト・プログラムのマーカー

: GXTプログラムのマーカー

マーカーを付けるとオート・チェンジ機能がオンになり、ミュージック・プレーヤーにあるオート・チェンジ・ボタン（ ）が点灯します。クリックして消灯させると、オート・チェンジ機能がオフになります。

マーカーをエディットする

マーカーはドラッグして、位置を移動することができます。

マーカーの削除

1. 削除したいマーカーをクリックします。
2. コンピューターの[delete]キーを押します。

ジャム・セット

再生曲にエフェクト・プログラムやGXTプログラムのマーカー情報を付けた状態をジャム・セットとして保存することができます。

ジャム・セット・ファイルの保存

1. エフェクト・プログラムやGXTプログラムのマーカーを付けた曲を作成します。
2. ファイル・メニューをクリックして表示されるメニューからSave As Jam Setを選びます。
3. 表示されるダイアログで保存場所を選び、保存します。
   拡張子「jamset」がついたジャム・セット・ファイルが指定した場所に保存されます。

   HINT: 読み込んだジャム・セット・ファイルを編集して保存する場合は、メニューからSave Jam Setをクリックします。

ジャム・セット・ファイルの読み込み

1. ファイル・メニューをクリックして表示されるメニューからOpen Jam Setを選びます。
2. 表示されるダイアログでジャム・セット・ファイルを選びます。
   ミュージック・プレーヤーにジャム・セット・ファイルが読み込まれます。

JamVOX-Onlineへジャム・セットをアップロードする

JamVOXでは自分で作成したジャム・セットをJamVOX-Onlineにアップロードしたり、他のユーザーがアップロードしたジャム・セットを検索して、ダウンロードして使うことができます。

ここではジャム・セットをアップロードする方法を説明します。

JamVOX-Onlineの機能を使用するには、コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

ジャム・セットのアップロードを行うには、ユーザー登録が必要です。

1. **ミュージック・プレーヤーの左側にあるジャム・セットUploadボタン（ ）をクリックします。**
   ユーザー登録を行っていない場合は、表示されるダイアログの指示にしたがってユーザー登録を行ってください。

2. **内容を確認し、必要な場合は修正してOKをクリックすると、ジャム・セットがアップロードされます。中止する場合はキャンセルをクリックします。**

ジャム・セットを検索する

JamVOX-Onlineにアップロードされているジャム・セットを検索することができます。

1. **ミュージック・プレーヤーの左側にあるSearchボタン（ ）をクリックします。**
   JamVOX-Onlineの検索画面が表示されます。

2. **Search欄をクリックして選択し、検索に必要な文字を入力します。**
   文字を入力するたびに絞り込み検索が行われ、画面に結果が表示されます。

ジャム・セットの情報を編集する

ジャム・セットの情報を編集するができます。

1. **ミュージック・プレーヤーの左側にあるEditボタン（ ）をクリックします。**
   ジャム・セットの情報が表示されます。

2. **編集する欄をクリックして選択し、文字を入力します。**

レコーディング

JamVOXでは、自分の演奏を録音することができます。ここでは、曲を再生しながらギターを演奏したものを録音してみましょう。

1. **録音レベルを調整します。▶ボタンをクリックして曲を再生し、ギターを弾きます。**
右上のレベル・メーターを見ながら、ギターと曲のレベルを調整します。

2. **録音レベルの調整が終了したら、■ボタンをクリックして停止させます。**

3. **▶ボタンをクリックして曲を再生し、録音を開始する位置にきたら●ボタンをクリックします。または、再生位置表示をクリックして録音開始位置に移動し、●ボタンをクリックします。**
録音を開始します。再生する曲に合わせてギターを弾いてください。

4. **演奏し終わったところで■ボタンをクリックして録音を終了します。**
録音データの形式は、WAV、AIFF、WMA（Windowsのみ対応）、AAC（Macのみ対応）を選択することができます。フォーマットの選択は、環境設定で行います。（☞28 ページの「環境設定」）

ムービーのレコーディング

JamVOXでは、自分の演奏を撮影することができます。ここでは、曲を再生しながらギターを演奏したものを撮影してみましょう。

演奏の撮影には、Webカメラを搭載したコンピューター、またはWebカメラを接続したコンピューターが必要です。

1. **演奏の録音と同様に、曲を再生して録音レベルを調整します。（☞「レコーディング」）**

2. **ムービーボタン（ ）をクリックします。**
Webカメラの画面が表示されます。

3. **Webカメラの角度などを調整します。**

4. **録音ボタンをクリックします。**
曲が始まると同時に撮影を開始します。

5. **録音ボタンをクリックして撮影を終了します。**
プレビュー画面が表示されます。
撮影したデータは、Save Asボタンをクリックしてコンピューターの Local Diskに保存することができます。

GXT（Guitar XTracktion）機能

GXT: Guitar XTracktionは、既成の楽曲から任意のギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調することができる、コルグが開発した革新的なテクノロジーです。

簡単な操作で、好きな曲のギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調することができますので、ギター演奏や練習に役立てていただけることでしょう。ここでは、GXTをより効果的にお使いいただくために、各機能について説明します。

GXTは、音の「定位」と「周波数帯域」を特定することによって機能します。従って、モノラルの曲では効果がありません。また、同じ定位/周波数帯域の他の音もキャンセルされます。また、ギター・パートのミックスのされ方によっては、効果がわかりにくい曲もあります。

GXTのパラメーター

画面上部にあるEffect/GXTボタンのGXTをクリックしてGXT画面を表示します。

GXT Link

GXT プログラムのDirectionとAreaパラメーターの設定に応じて、ギター出力の“Pan”がリンクして変わります。GXT機能を使ってキャンセルしたギター・パートの位置にあなたのギター演奏を重ねることができます。

GXT画面

GXT画面に表示される楽器は、キャンセルまたは抽出/強調するパートを示しています。音をキャンセルする設定の場合は楽器に「 」マークが表示されます。再生している曲に対して得たい効果のテンプレートを選び、楽器を左右にドラッグすることによってパラメーターを微調整します。

ボタン

GXT機能をオン/オフします。

プログラム・セレクト

GXTプログラム名を表示、選択します。

Saveボタン

エディットしたGXTプログラムを保存します。

Save Asボタン

エディットしたGXTプログラムを別名保存します。

Set to Songボタン

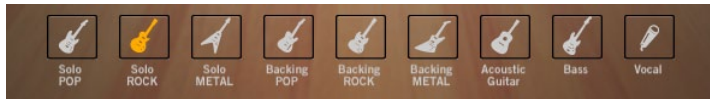
GXTプログラムを曲に設定します。

アップロード・ボタン

自分で作成したGXTプログラムをJamVOX-Onlineにアップロードします。

Reduce/Extractボタン Reduce Extract

ギター・パートをキャンセルする場合はReduceをクリックします。
ギター・パートを抽出/強調する場合はExtractをクリックします。

テンプレート・セレクト・ボタン

再生している曲に対して効果を得たい設定に合ったテンプレートを選びます。
選んだテンプレートによって表示される楽器の種類が変わります。

楽器

テンプレート･セレクト・ボタンで選んだテンプレートに合った楽器を表示します。
また、楽器を左右にドラッグすることによって目的に応じた効果を得ることができます。

L&Rボタン L&R

左右の両方のチャンネルに対して効果がキャンセルまたは抽出/強調されます。
このときは、楽器が左右に表示されます。

Detailボタン Detail

オンにすると、エディット･パラメーターを表示します。

エディット･パラメーター

Target Guitar Freq. Bandsスライダー

キャンセルまたは抽出/強調したいギター・パートの周波数帯域を設定します。
対象とする音の最低周波数を左のLOスライダー、最高周波数を右のHIスライダーで設定します。

Areaボタン

：曲の左側に定位しているギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調する場合に選択します。

：曲の中央に定位しているギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調する場合に選択します。

：曲の左右両側に定位しているギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調する場合に選択します。

：曲の右側に定位しているギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調する場合に選択します。

Directionスライダー

ギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調するエリアの定位を調整します。

Widthスライダー

ギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調するエリアの幅を調整します。

Gainスライダー

ギター・パートをキャンセルまたは抽出/強調するエリアのゲインを調整します。

HINT: グラフやスライダーの細かい調整は、コンピューターの上下左右カーソル・キーを使用すると便利でしょう。

Lo-Hi Boostスライダー

ミュージック・プレーヤーで再生している曲の低域と高域を強調します。

再生している曲によっては、Lo-Hi Boostを上げると歪むことがあります。その場合は曲の音量を下げてください。

GXTの設定方法

ギター・パートをキャンセルする

GXTでギター・パートをキャンセルする場合のベーシックな設定方法を説明します。

1. **曲を再生し、キャンセルしたいギター・パートが曲のどこ（左側、中央、右側、左右両側）に定位しているのかを確認してください。**
   ヘッドホンを使用するとわかりやすいでしょう。

2. **キャンセルしたいギター・パートの定位がわかったら、ミュージック・プレーヤーのGXTボタンを押してください。**
   GXT効果がオンになります。

3. **プログラム・セレクトでGXTプログラムを選びます。**
   目的のギター・パートがキャンセルされるプログラムを選んでください。
   選択したプログラムによって画面に表示される楽器の種類や位置が変わり、GTXプログラムの設定が再生音に反映されます。

   NOTE: 再生している曲によっては、あまり劇的な効果が得られない場合もあります。

4. **対象とするギター・パートのキャンセル効果がおわかりいただけたと思います。さらに楽器を左右にドラッグすることによって、関連するパラメーターが調整されます。**

5. **より良いキャンセル効果を得たい場合は、Target Guitar Freq. BandsやDirection、Width、Gainを使用して、曲に応じた調整を行ってください。**
   先ず、対象とするギター・パートのキャンセル効果を聴きながら、スライダーを使ってDirection、Width、Gainの最も効果的な設定を探ります。

   次に、Target Guitar Freq. Bandsスライダーで、対象とするギター・パートの周波数帯域を設定します。
   Target Guitar Freq. Bandsの設定は、次のように行うのが良いでしょう。

Loスライダー： Extractボタンを押し、抽出/強調されたギター・パートを試聴しながら、ベース・パートの音が聴こえない周波数まで下げます。そして、Reduceボタンを押し、ギター・パートの低音のキャンセル具合に応じて、周波数を上下させて調整します。

Hiスライダー： Extractボタンを押し、抽出/強調されたギター・パートを試聴しながら、ハイハットやスネアのアタック等ができるだけ聴こえない周波数まで下げます。そして、Reduceボタンを押し、ギター・パートができるだけキャンセルされるように周波数を上げて行きます。この作業を繰り返し行って調整します。

HINT: GXTのパラメーター調整を行う場合、ドラムの音に与える影響を最小限に留めることが、自然なキャンセル効果を得るためのポイントです。例えば、Widthを広く設定した場合は、Hiスライダーの値をできるだけ下げてハイハットを効果対象外に逃がしてください。逆にWidthが狭い場合は、グレー・エリア外にハイハットの音が残っていますので、Hiスライダーをある程度上げることができます。

ギター・パートの抽出/強調

上記設定の後、Extractボタンを押すと、対象とするギター・パートを抽出/強調することができます。

フレーズの聴き取り等で、より良い抽出/強調効果を得たい場合は、「ギター・パートをキャンセルする」の設定方法を参考に、Target Guitar Freq. BandsやDirection、Width、Gainを調節してください。

HINT: ピッチを変えずに再生テンポを落とすことができるテンポ・チェンジ機能を併せて使うと、フレーズのコピーや練習に効果的です。

GXTプログラムを保存する

作成またはエディットしたGXTプログラムを保存します。

⚠ エディットしたプログラムを保存しないで、他のプログラムに切り替えると、エディットしたプログラムの状態は消去されます。

上書き保存　Save

GXTエディット・パネルのSaveボタンをクリックすると、リストに保存されているプログラムに上書き保存されます。

新規保存　Save As

現在エディット中のプログラムとは別に、リストに新規保存されます。

1. **GXTエディット・パネルのSave Asボタンをクリックします。**
   プログラム情報等を入力するダイアログが表示されます。
2. **必要な項目を入力します。**
3. **OKボタンをクリックします。**
   エディットしたプログラムが新規に保存され、リストに追加されます。

JamVOX-OnlineからGXTプログラムをダウンロードする

JamVOXでは自分で作成したGXTプログラムをJamVOX-Onlineにアップロードしたり、他のユーザーがアップロードしたGXTプログラムを検索し、ダウンロードして使うことができます。

JamVOX-Onlineの機能を使用するには、コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

GXTプログラムの試聴やダウンロードを行うには、ユーザー登録が必要です。ユーザー登録を行っていない場合は検索のみ行えます。

1. **JamVOX-Onlineをクリックして選択します。**
   リストに人気のエフェクト・プログラムやGXTプログラムが表示されます。
2. **使いたいプログラムが表示されない場合は、Search欄に曲名やアーティスト名を入力して、コンピューターのReturnキーを押します。**
   リストに検索結果が表示されます。思うような結果が得られない場合は、Search欄に入力する項目を変更してみてください。
3. **表示されたプログラムをダブルクリックするとダウンロードできます。**
   ダウンロードしたプログラムは、「Local Disk」に保存されます。
   ユーザー登録を行っていない場合は、表示されるダイアログの指示にしたがって登録を行ってください。

JamVOX-OnlineへGXTプログラムをアップロードする

JamVOXでは自分で作成したGXTプログラムをJamVOX-Onlineにアップロードしたり、他のユーザーがアップロードしたGXTプログラムを検索して、ダウンロードして使うことができます。

ここではGXTプログラムをアップロードする方法を説明します。

JamVOX-Onlineの機能を使用するには、コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

GXTプログラムのアップロードを行うには、ユーザー登録が必要です。

1. **Uploadボタン（ ）をクリックします。**
   ユーザー登録を行っていない場合は、表示されるダイアログの指示にしたがってユーザー登録を行ってください。
2. **内容を確認し、必要な場合は修正してOKをクリックすると、GXTプログラムがアップロードされます。中止する場合はキャンセルをクリックします。**

リスト

リストではエフェクト・プログラム、GXTプログラムのデータやプログラム情報の編集や管理を行います。

各部の名称と機能

Local Disk

コンピューターに保存されているエフェクト・プログラムとGXTプログラムを管理します。

JamVOX-Online

JamVOX-Onlineにアップロードされているエフェクト・プログラムやGXTプログラムを検索、試聴、ダウンロードできます。クリックして選択すると、人気のエフェクト・プログラムやGXTプログラムがリストに表示されます。

☞ 8 ページの「JamVOX-Onlineからエフェクト・プログラムをダウンロードする」

☞ 24 ページの「JamVOX-OnlineからGXTプログラムをダウンロードする」

リスト

エフェクト・プログラムやGXTプログラムなどのデータを表示します。Local DiskまたはJamVOX-Onlineをクリックして選択すると、データがリストに表示されます。

リストを使いこなす

データを検索する

キーワードを入力して、自分のコンピューター内またはJamVOX-Onlineからエフェクト・プログラム、GXTプログラムを検索します。

1. **エフェクト・プログラムを検索する場合はEffectボタン、GXTプログラムを検索する場合はGXTボタンをクリックします。**

2. **Search欄をクリックして選択し、検索に必要な文字を入力します。**

文字を入力するたびに絞り込み検索が行われ、リストに結果が表示されます。

JamVOX-Onlineの活用

他のユーザーがJamVOX-Onlineにアップロードしたプログラムを検索することができます。

1. **JamVOX-Onlineをクリックして選択します。**

リストに人気のプログラムが表示されます。

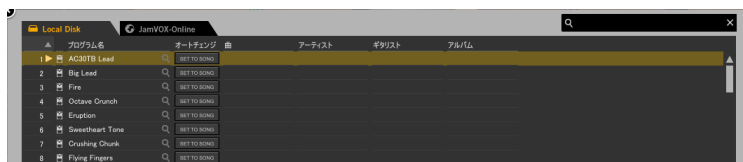
2. **使いたいプログラムが表示されない場合は、Search欄に曲名やアーティスト名を入力してコンピューターのReturnキーを押します。**
   リストに検索結果が表示されます。思うような結果が得られない場合はSearch欄に入力する項目を変更してみてください。

情報を編集する

リスト上での情報の編集

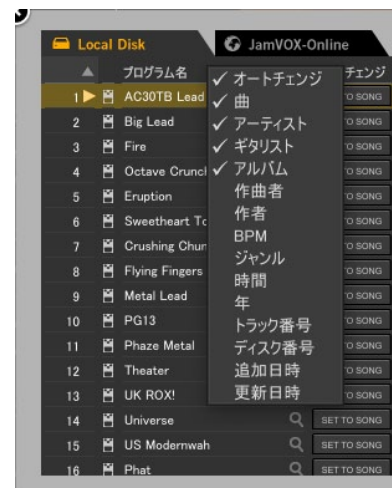
リスト中の項目をリスト上で編集します。

1. **リスト上で変更したい項目を含む行をクリックします。**

2. **変更する項目をクリックします。**
   項目が編集可能になります。

3. **項目を変更し、Returnキーを押します。**

リスト上に表示させる項目を設定する

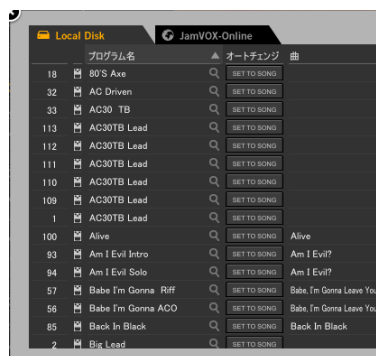
表示する情報を設定します。

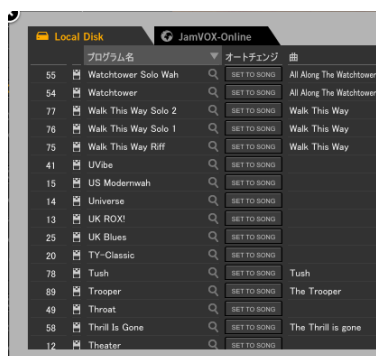
1. **リストの項目タイトルを右クリックします。（Mac: Control キー+クリック）**
   表示オプション・リストが表示されます。表示オプション・リストには、表示可能な項目が表示されます。

2. **表示したい項目を選択し、チェック・マークをつけます。**
   チェック・マークをつけた項目がリストに表示されます。
   チェック・マークを解除すると、その項目はリストに表示されません。

リスト上のデータを並び替える

リスト内で項目を並べ替えます。

1. **リストの項目タイトルをクリックします。**

クリックした項目を基準に、リスト内のデータが並び替わります。例えば、エフェクト・プログラムで、「名前」をクリックすると、名前を基準にリストが並び替わります。

2. **右側に表示される三角形をクリックします。**

並べ替えの順序が逆になります。

このように、ジャンルやギタリストなどが一致するリスト内のエフェクト・プログラムを、リスト上でまとめることができます。

NOTE: 並び替えの基準となる項目が表示されていない場合は、項目を右クリック（Mac: Controlキー+クリック）して表示されるオプション・リストで表示項目をチェックします（☞26 ページの「リスト上に表示させる項目を設定する」）。

環境設定

環境設定では、JamVOXソフトウェアの画面表示やノブ等の操作方法などを、ご自分の環境や好みに合わせて設定できます。
オプション・メニューの「環境設定」を選択して表示される環境設定ダイアログで、タブをクリックしてページを選び、各設定を行います。

一般

ノブの操作方法

ノブの操作方法を選択します。

直線: ノブを上下にドラッグして操作します。初期設定はこの設定です。

回転: ノブを回すようにドラッグして操作します。

デフォルトウェブサイト

ミュージック・プレーヤーの左側にあるWebボタン（ ）をクリックして表示されるウェブサイトのURLを設定します。

ヒントを表示する

ノブやスイッチなどにカーソルを合わせると、簡単な説明やパラメーターの値が表示されます。

ハードウェア

オーディオ・デバイス

使用するオーディオ・インターフェイスを選択します。

NOTE: ギターをリアルタイムに演奏するには、低レイテンシーのオーディオ・インターフェイスが必要です。

ボーカル・マイク

オン/オフ

マイクを使用するときにオンにします。

音量

マイクの出力レベルを調整します。Master Outのメーターを確認しながら調整します。

エコー

マイク出力のエコーを調整します。

録音

オーディオ形式

録音するデータの形式を WAV、AIFF、WMA（Windowsのみ）、AAC（Macのみ）から選択します。

音質

録音するデータの音質を設定します。オーディオ形式にWMA（Windowsのみ）、AAC（Macのみ)を選択している場合のみ有効です。

NOTE: これらの設定は、音楽CDを読み込んだときにも適用されます。

JamVOX-Online

JamVOXアカウント

JamVOXアカウントの確認やJamVOX-Onlineへのログインなどを行います。

ログイン

JamVOX-Onlineに接続します。あらかじめユーザー登録が済んでいる必要があります。

アカウントを作成する

JamVOXアカウントの作成とユーザー登録を行います。起動するWebブラウザで登録を行います。

プラグイン

JamVOXをプラグインとして使う

対応プラグイン・フォーマット

・VST (Virtual Studio Technology)

・AU (Audio Units)

JamVOXプラグインは、32ビットと64ビットDAWアプリケーションの両方に対応しています。

JamVOXプラグインの起動方法

JamVOXプラグインの起動方法については、各DAWアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

JamVOXプラグインの使い方

JamVOXプラグインでのエフェクト・プログラムの選択方法やギター・エフェクトの操作方法については、8 ページの「エフェクト･プログラムを選ぶ」や12 ページの「音作り」をご覧ください。

JamVOXプラグインは、オートメーションなどの一般的なプラグイン機能にも対応しています。

NOTE:

・JamVOXプラグインは、ギター・エフェクトに特化した楽曲制作のためのプラグインです。エフェクト・セクションを使用できますが、ミュージック・プレーヤー、GXT、JamVOX-Onlineへのアップロード/ダウンロードなどは使用できません。